慢性硬膜下血腫 穿頭術を受けられる患者さまへ

患者様用

患者氏名:　　様　　受持医:　　受持看護師:

月 日(日 時)	/	/	/ ～ /	/ ～ /
経 過(病日)	入院日(手術前日)	入院2日目(手術当日)	入院3～8日目(手術後1～6日目)	入院9日(手術後7日目)
達成目標	◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している (収縮期血圧80～180mmhg) ◆神経症状が悪化しない ◆入院の必要性を患者・家族が理解し同意する ◆退院基準を理解し、同意する ◆手術の必要性を患者・家族が理解し同意する	手術前 ◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している (収縮期血圧80～180mmhg) ◆神経症状が増悪しない ◆手術の必要性を患者・家族が理解し同意する 手術後 ◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している (収縮期血圧80～140mmhg) ◆神経症状が増悪しない ◆創痛がコントロールできる ◆手術創からの出血がない ◆全身麻酔から回復する ◆術後の安静が理解できる	◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している (収縮期血圧80～180mmhg) ◆神経症状が悪化しない ◆創痛がコントロールできる ◆創部の感染徴候がない ◆セルフケアができる	【転院・退院基準】 ◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している (収縮期血圧80～180mmhg) ◆神経症状が悪化しない ◆創痛がコントロールできる ◆創部の感染徴候がない ◆セルフケアができる ◆抜鉤できる
治療 薬剤		手術室入室時間(　　:　　)	術後合併症(感染症、脳梗塞、消化管出血等)を予防する点滴が追加になります	
処 置	・手術前に面会する際は(　　)頃に来院してください ・病院内待機の必要はありません ・携帯電話に出られるようにしてください ・手術時間は約30分です ・麻酔時間を含めると病棟に戻るのは1時間30分後です		・創部は金具で縫合しています ・創部の消毒があります ・創部はガーゼで保護します	・抜鉤を行います ・創部は開放されます
検 査			・頭部CT撮影	・血液検査
活動 安静度	・制限ありません		・ベッド上安静です	・病院内歩行できます
食 事	・24時までは飲水ができます	・絶食になります	・手術翌日の昼から食事が開始になります ・経口摂取が難しい場合は経鼻経管栄養(鼻から管を挿入)での食事管理を開始します	
清 潔	・入浴できます		・看護師が体を拭きます	・入浴できます 傷口は優しく洗ってください
排 泄	・トイレで排泄できます		・ベッド上での排泄になります	・トイレで排泄できます
患者様及び ご家族への 説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	・主治医が手術および治療計画について説明します (外来で説明済みの場合、簡易的に説明します) ・看護師が入院生活について説明します ・入院費に関する質問は4階総合受付6番にご相談ください ・必要時、薬剤師・管理栄養士が薬や食事について説明します		・手術後の説明があります ・電話での説明も可能です 	・退院時、主治医が今後の治療方針について説明します ・看護師が退院または転院に向けての問題点を一緒に考え、準備をしていきます ※自宅退院:　入院前のように日常生活ができている方、歩行状態が安定している方が対象です ※リハビリ転院:　意識レベルや歩行状態が入院前と比べて低下している方が対象です ※術後の状態を見てリハビリが必要か、医師・看護師・リハビリスタッフと共に判断していきます ・転院先病院の希望があればお知らせください

入院中に気になること、聞きたいこと、疑問点などがあれば、いつでも病棟看護師にお尋ねください

注:入院期間については現時点で予想される期間です

国立病院機構　熊本医療センター　脳神経外科　2026年1月　改訂